

重臣の主要出入口・戦闘拠点の最高峰の櫓

ひがしごもん

たつみやぐら



東御門・翼櫓

東御門は、駿府城二ノ丸の東に位置する櫓形門です。平成8年に日本古来の伝統工法にのっとりて復元されました。要所に石落とし、鉄砲狭間、矢狭間等をもつ堅固な守りの実践的な門で、戦国時代の面影を残しています。

また、平成元年に復元された翼櫓は、二層一重の隅櫓で全国の城の櫓建築でも例の少ないI字型の平面をもち、駿府城の櫓の中では防衛機能に勝れた櫓でした。

両館内では、駿府城公園内より発掘された資料の展示や家康が幼少期の人質時代に教えを受けたとされる、臨濟寺の部屋を復元した「竹千代手習いの間」などをご覧いただけます。



翼櫓三層小屋組

櫓は戦闘時には戦闘拠点となり、望楼、敵への攻撃、武器の保管などの役目がありました。



櫓門南面（正面）

「帯刀前御門」「浄慶御門」とも呼ばれ、主に重臣たちの出入口として利用されていました。



駿府城二ノ丸

ひつじょう



坤

やぐら

櫓

坤櫓は、駿府城二ノ丸の南西の角に位置する櫓です。

江戸時代は方位に干支を用いており、南西の方角を坤と呼びました。安政元年の安政大地震で崩壊したため、160年ぶりに伝統的な木造工法を用いて復元されました。

内部からは、二層三階構造を見通すことができ、「時空の間」「手解きの間」「見渡しの間」「記憶の間」「変幻の間」の5つの間に分かれています。

「時空の間」では、最新の映像技術を用いた「今昔スコープ」駿府時空鏡」によって、駿府城の天守閣や城下の街並みなどを3D映像で体験できます。

変幻の間

家康公の甲冑(レプリカ)を着て、なりきり家康公体験！



記憶の間

発掘調査で発見された瓦や、収蔵品の資料を紹介。

手解きの間

復元工事の様子や駿府と家康公の歴史を映像で紹介。

時空の間

異次元体験型アトラクション「今昔スコープ」で3D体験。
※別途体験料が必要です。

見渡しの間

櫓上部の展望鏡を通して、公園内や雄大な富士山を見渡す。

四季彩々、駿河の趣に出逢う園

もみじやまていえん



紅葉山庭園

紅葉山庭園は、駿府城公園の歴史的背景を活かし、城郭の大名庭園に見られるような、遊びと楽しさを基調として創られました。

駿河の国の名勝を織り込んだ4つの庭を中心に、春は桜、夏は紫陽花、秋は紅葉、冬は椿など四季折々の表情を味わいながら、実際の風景をも心に想う。そんな意匠をもった庭園を目指しました。

庭園に面した立礼席「もみじ亭」では、呈茶がお楽しみいただけます(有料)。

心潤す豊かで美しい駿河の国をじっくりとご鑑賞下さい。

山里の庭

駿河の国の象徴「富士山や安倍川の流れが表現された山里の庭。中腹の展望台からは庭園全体が見渡せます。



里の庭

牡丹、飛び石で巡る梅林、八つ橋周辺の花菖蒲と、色鮮やかに、可憐に咲き誇る花の園。

